

令和3年度 入学式 告辞

今日の佳き日に、令和3年度の石川工業高等専門学校入学式を挙げていただけますことは、私ども教職員および在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席の皆様方に対し、心から御礼申し上げます。本日は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、各入学生の保護者の参加は1名のみとし、式典のライブ配信を別室で視聴いただいております。

本年度は、第1学年に入学する学生208名、第3学年に編入学する留学生3名、第4学年に編入学する学生1名、さらに専攻科に入学する学生28名、合わせて240名の新入学生を迎えることになりました。

新しく入学あるいは進学された皆さん。ご入学、おめでとう。石川高専は、皆さんを心から歓迎いたします。専攻科に進学された方々を別にすれば、多くの皆さんにとって、高専における生活は未知のものでしょう。新しい生活に対する大きな夢と期待、そしてちょっぴり不安を胸に、そこに座っておられることと思います。

石川高専は、昭和40年に国立の高専として石川県の中心に位置する津幡町の東、高台の自然豊かなこの地に設立されて以来、その卒業生は8783人にも達する伝統ある高等専門学校であります。それらの先輩方は科学技術創造立国としての我が国の産業技術と社会を支え、その発展の一翼を担ってまいりました。ここに入学された皆さんは、石川高専が誕生して57年目に入学した学生ということになります。

さて、はじめに第1学年に入学された皆さんに申し上げたいことがあります。

今日から石川高専の学生として、将来日本の科学技術を担う社会人になるという強い目的意識を持って、それにふさわしい知性と感性を磨いて欲しいということです。

ふさわしい知性を磨くとは、技術者または工学研究者になるための十分な基礎学力と専門知識に加えて工学倫理を身につけ、それらを応用し、さらに発展させる力を持つことです。いま日本社会が学歴よりも実力を重視する方向に変わりつつあることは新聞やテレビなどの報道で知っているでしょう。本校では、低学年から専門科目の授業があり、実験・実習を重視した実践的教育を行っていますので、まじめに勉強すれば、十分な実力が身につきます。そのことは、本校卒業生を採用した企業の高い評価によっても証明されています。

しかし、ここで注意したいことは、知識を詰め込むだけでは真の実力にはならないということです。せっかく積み上げた知識も、感性が乏しければ、知識を的確に用いて創造的な仕事をすることはできません。社会で活躍できる人材となるには、知識の修得とともに感性を磨くことが大切であり、この二つが備わってはじめて真の実力を得ることになるのです。本校では、クラブ活動または同好会への入部・入会を勧め、学生会活動等の課外活動を経験させていますが、それらは、人間性と社会性を高めるのはもちろんのこと、感性を磨くためのものなのです。クラブ活動、同好会、学生会活動等の課外活動を通して、ひとりでも多くの「生涯の友」を作り、互いに切磋琢磨して感性を磨いてください。

第1学年に入学された皆さん、これからの5年間、悩むことも多いと思います。中学のときは成績優秀者でも、高専はその優秀者の集まりですから、成績の順位に悩むかもしれません。しかし、それは悩むことではありません。定期試験に合格し石川高専を卒業できる力があれば、社会で立派に通用します。社会に出ると学校時代の成績よりも行動力・実践力の方が、はるかに重要です。友人関係などで悩むことがあるかも知れません。そのような「悩み」は、人格形成のために与えられた試練だと考えてください。ひとりで悩まず、先生や周りの人に相談して下さい。ひとつの「悩み」を克服すれば一回り大きな人格が形

成されているはずで、後できっと良い思い出になります。5年間、全員が伸び伸びと知性と感性を磨き、有意義な高専生活をおくられることを希望いたします。

マレーシア、インドネシア、モンゴルから留学してきた3名の編入学生の皆さんを心から歓迎いたします。言葉も生活習慣も違う日本で勉強するには辛いことも苦しいこともたくさんあると思いますが、早くたくさん友達を作って、石川県津幡町の生活になじんでください。皆さんの国の文化を友達に伝え、日本の文化について友達から学んでください。そして、卒業後、皆さんの国と日本との技術交流と文化交流の架け橋となってくれることを希望いたします。

高等学校から第4学年に編入した学生は、これまで勉強してきたことをさらに高めるといふ強い目的意識を持って石川高専に編入学したことと思います。環境が変わって戸惑うことが多いかも知れませんが、一日も早く本校に慣れて自分のペースを作り、初心を貫徹され目的を達成してくれることを希望いたします。

次に、専攻科に進学した28名の皆さん、これから2年間、本科で培った基礎学力を基に、より深い専門性と複数の専門領域にまたがる複合的視野を持った総合技術者としての基盤を身につけて下さい。将来は、わが国の研究技術の牽引者となることが期待されています。皆さんには広い視野を持ち、グローバルに活躍できる創造性と実践力をもつ人間性豊かなイノベーション技術者として活躍されることを願っています。

最後になりましたが、どうか本日の感激を忘れずに、皆さん一人ひとりの夢の実現のために、自分の可能性を信じて、志を高く持って、高専生活を過ごしていただきたいと思えます。

また、保護者の皆様方に改めてお祝い申し上げますとともに、家庭と学校との密接な連携を保ち、本校への積極的なご支援とご助言を切にお願い申し上げます。重ねて、本日入学される皆さんをお祝いし、校長の告辞といたします。

令和3年4月7日

石川工業高等専門学校長 須田 義昭